

| | |
|---------|------------|
| 承認指図書番号 | 25動薬第1180号 |
| 販売開始 | 2009年7月 |

ビオイムバスター[®]錠

【本質の説明又は製造方法】

本剤は、整腸作用のある有孢子性乳酸菌(*Bacillus coagulans*)と総合消化酵素パンクレアチンの2つの有効成分を配合した動物用医薬品で、食欲不振や消化不良、下痢に効果があります。また、本剤は片面に1/4錠割線のある茶褐色の小型の円形錠剤で、嗜好性の高い素材を配合しているため、小型の犬や猫にも容易に投与することができます。

【成分及び分量】

本品1錠(200 mg)中

| 有効成分 | 含量 |
|---------|---------|
| 有孢子性乳酸菌 | 30.0 mg |
| パンクレアチン | 60.0 mg |

その他、ビフィズス菌(*Bifidobacterium longum*)、アシドフィルス菌(*Lactobacillus acidophilus*)、フェカリス菌(*Streptococcus faecalis*)、魚由来ペプチド(タンパク加水分解物)及び酵母エキスを含む。

【効能又は効果】

犬猫 食欲不振、消化不良。単純性下痢。

【用法及び用量】

1日2回下記の量を経口投与する。

| 犬 | 20 kg以上 | 3錠 | 猫 | 3 kg以上 | 1錠 |
|---|---------------|----|---|--------------|------|
| | 5 kg以上20 kg未満 | 2錠 | | 1 kg以上3 kg未満 | 1/2錠 |
| | 5 kg未満 | 1錠 | | 1 kg未満 | 1/4錠 |

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

(犬及び猫に関する注意)

- ・抗菌性物質製剤を投与されている動物に本剤を投与した場合、本剤の効果が減弱するため、抗菌性物質製剤との併用は避けること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・使用済みの包装容器は、地方公共団体の条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

(犬及び猫に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(取扱い上の注意)

- ・本剤を分割投与する場合は、速やかに使用すること。

【薬理学的情報等】

(薬効薬理)

| 有効成分 | 作用機序 |
|--|---|
| 有孢子性乳酸菌 (<i>Bacillus coagulans</i>) | 有孢子性乳酸菌は、一般乳酸菌に比べ、胞子を形成しているため、高い耐酸性、耐熱性、耐圧性、耐糖性、耐塩性がある。そのため、本剤は腸管への到達率が高く、腸管内での増殖・定着性に優れ、高い乳酸菌育成率(90%以上)を有する。臨床効果としては、整腸作用、消化・吸収の補助、病原菌による感染防御、有害物質の産生抑制、免疫機能の活性化等が期待できる。また、ヒトにおいては、便性状(色、形)、便秘、便臭(におい)等の便性改善効果が知られている。 |
| 総合消化酵素 パンクレアチン | パンクレアチンは、膵液中に含まれるプロテアーゼ、膵臓アミラーゼ、リパーゼ、トリプシン、キモトリプシン、カルボキシペプチターゼ、リボヌクレアーゼ等、その他多くの消化酵素を含み、胃や腸ででんぷん、蛋白質及び脂肪を分解し、消化を助ける。臨床効果としては、消化・吸収の補助等を期待できる。 |

(臨床試験)

下痢の症状がみられた犬を対象に、本剤を1日2回経口投与した結果、最終観察日における評価項目の総合改善率は94.8%となり、本剤の有用性が認められた(抗生物質との併用含む)。また、「ビオイムバスター錠」に「ディアバスター錠^{*1}」を併用することにより、さらに高い臨床効果(総合改善率98.6%)が確認された。

*1: 動物用医薬品ディアバスター錠(製造販売業者:リケンベッツファーマ株式会社)
(タンニン酸ベルベリン、次硝酸ビスマス、ゲンノシヨウコ乾燥エキス、五倍子末、ロートエキス散配合剤)

改善を示した割合

| 評価項目 | ビオイムバスター錠 n=29 | プラセボ n=25 | ビオイムバスター錠 ディアバスター錠併用 n=29 |
|-------|-------------------|--------------|---------------------------------|
| 下痢の回数 | 82.8% | 64.0% | 100.0%** |
| 下痢の状態 | 93.1% | 68.0% | 100.0%** |
| 食欲 | 100.0%** | 64.0% | 96.6%* |
| 活動性 | 96.6% | 76.0% | 100.0% |
| 総合改善率 | 94.8%** | 74.4% | 98.6%** |

*P<0.05 **P<0.01

Aya Matsuo, et al.; J. Jpn. Vet. Med. Assoc., 62:789-795(2009)

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術
〒102-0073
東京都千代田区九段北一丁目11番5号
TEL: 03-3264-7556

【包装】

100錠(PTP包装) 10錠×10シート)

販売元



共立製薬株式会社
東京都千代田区九段南1-5-10

製造販売業者



リケンベッツファーマ株式会社
埼玉県川口市元郷四丁目1番8号

開発元



Veterinarian Medical Development CO., LTD
獣医医療開発株式会社
埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-133-1

®登録商標

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。